

年間授業計画 新様式例									
高等学校 令和4年度(1学年用) 教科 情報					科目 情報 I				
教科: 情報		科目: 情報 I			単位数: 2		単位		
対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 1 組									
教科担当者: ( 1 組: 中山由 ( 組: ) ( 組: ) ( 組: ) ( 組: )									
使用教科書: ( 新編 情報 I (東京書籍) )									
教科 情報 の目標:									
【知識及び技能】		コンピュータの活用について理解し、リテラシーを身につけているとともに、情報社会について理解している。効果的なコミュニケーション、データの分析や活用、プログラミングについて理解している。							
【思考力、判断力、表現力等】		コンピュータを用いた効果的な情報伝達、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切に使い、様々な情報を取捨選択できるスキルを持つ。							
【学びに向かう力、人間性等】		情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。							
科目 情報 I の目標:									
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】			
コンピュータの活用について理解し、リテラシーを身につけているとともに、情報社会について理解している。効果的なコミュニケーション、データの分析や活用、プログラミングについて理解している。			コンピュータを用いた効果的な情報伝達、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切に使い、様々な情報を取捨選択できるスキルを持つ。			情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。			
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数			
単元 情報で問題を解決する。 【知識及び技能】 情報やメディアの特性を理解し、問題解決のプロセスを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な表現メディアを判断することができる。問題解決のプロセスを適切に判断できる。【学びに向かう力、人間性等】 情報やメディアの特性を理解しようとしている。	・指導事項 情報とメディアの特性、情報解決の流れ、発想法、情報モラル、個人情報流出、傷つけない傷つかないために、著作権、情報技術の発展、情報化と私たちの生活の変化、より良い情報社会へ ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 メディアの特性を理解し、情報をデジタル化して扱う利点と欠点を理解している。問題解決のプロセスに、情報技術の効果的な活用方法を知っている。 【思考・判断・表現】 情報伝達に対して、適切な表現メディアを選択することができる。身近な問題について、問題解決のプロセスを踏みながら、次の問題解決に生かす方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 適切なメディアを選ぼうとしている。身近な問題について、情報をどのように活用したらよいか考えようとしている。	○	○	○	12			
単元 情報を伝える 【知識及び技能】 ネットコミュニケーションの特徴を理解している。数値、音、画像、色、動画のデジタル化の方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 状況に応じて適切なメディアを選択することができる。情報のデジタル化の利点を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ネットコミュニケーションの特性を理解してメディアを活用しようとしている。情報のデジタル化の関係性について考えようとしている。	・指導事項 コミュニケーション手段の変化、ネットコミュニケーションの特徴、デジタルの世界へ、数値と文字デジタル表現、音と画像のデジタル表現、色と動画のデジタル表現、目的に応じたデジタル化、情報デザイン、エンバーサルデザイン、情報デザインの流れ ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ネットコミュニケーションの特徴について仕組みを含めて詳しく理解し、デジタル化の方法を科学的に深く理解している。 【思考・判断・表現】 状況に応じて適切なメディアを選択することができる。様々なものをコンピュータで表現し、その違いについて考えることができる。【主体的に学習に取り組む態度】 ネットコミュニケーションの特性として、メリット・デメリットや技術的な仕組みを理解してメディアを活用しようとしている。コンピュータでデジタル化する方法に興味を持ち、科学的に理解しようとしている。	○	○	○	12			
単元 コンピュータを活用する 【知識及び技能】 コンピュータの仕組みやソフトウェア、論理回路を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 プログラミング、論理回路、アルゴリズムを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラミング、論理回路、アルゴリズムをしようとしている。	・指導事項 コンピュータとは何か、ソフトウェアの仕組み、演算の仕組みとコンピュータの限界、アルゴリズムの表現、プログラムの基本構造、発展的なプログラム、モデル化とシミュレーション、シミュレーションの活用 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 プログラム、論理回路、アルゴリズムを理解し、それぞれの技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 プログラム、論理回路、問題解決の手順を考えて、効率のよい表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 プログラム、論理回路、効率のよいアルゴリズムを考えようとしている。	○	○	○	13			
単元 データを活用する【知識及び技能】 データの形式について理解し、どのように活用されているか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 データの性質を適切に判断してアンケートなどに表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近にあるデータに興味をもちようとしている。蓄積したデータを活用しようとしている。	・指導事項 ネットワークとインターネット、インターネットの仕組み、サーバーとクライアント、インターネット上のサービス、情報セキュリティ、データの形式、データベースの活用、様々なデータモデル、データ分析の流れ、目的に合わせたデータ利用 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 データベースがどのように活用されているか、仕組みについても深く理解し、収集して可視化するさまざまな技能を身につけている。【思考・判断・表現】 データを多角的に分析して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決のために、データを収集し、分析し、結果を表現し、その過程を振り返り、次の問題解決に生かそうようとしている。	○	○	○	13			
D 単元 活動して提案する 【知識及び技能】 文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトウェアを活用する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 情報を相手にとってわかりやすく表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作成した作品を見せ合い、相互評価しようとしている。	・指導事項 アイディアの大量生産、検索のコツ、職業人インタビュー、つくるまのルール、言葉で図形を伝達、色の三原色を伝達、光の三原色を体験、データ量の見積、ピクトグラム、図解表現、Webニュースページ、映像制作、気まぐれA I、お知らせセンサ、プログラムで動きを再現、シミュレーション、Myお天気キャスター、パケット通信の体験、データの分析、コンピュデータベース、クラスの実態調査 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトウェアを活用し、短時間で効果的に活用する技能がある。 【思考・判断・表現】 情報デザインを意識しながら文書作成や表計算、プレゼンテーションソフトウェアで表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作成した文書、ワークシート、スライドを他者と見せ合って相互評価をし、改善方法について考えようとしている。	○	○	○	16			